

議事録

1. 件名：「令和 4 年度制振装置の機能確認に関する検討」に係る技術検討会（第 2 回）
2. 日時： 令和 5 年 3 月 9 日(木) 10:00～11:30
3. 場所： 原子力規制庁 会議室(web 会議)
4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
日比野総括技術研究調査官、田岡主任技術研究調査官、石田技術参与、高松技術参与

東芝エネルギーシステムズ株式会社
原子力プラント設計部 エキスパート 他 2 名
機械技術開発部 エキスパート 他 1 名
原子力技術部 シニアエキスパート

学校法人東京都市大学 総合理工学研究科 教授 1 名
学校法人東京電機大学 理工学部 教授 1 名 工学部 准教授 1 名
5. 要旨：
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、既設プラントに新たに導入された設備の耐震性を把握するための安全研究を令和 3 年度から令和 6 年度にかけて計画し、実施している。
当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和 4 年度制振装置の機能確認に関する検討」事業を実施している。
今回は、当事業について学識経験者から意見を伺う技術検討会を実施した。
内容は下記のとおり。
 - ① 規制庁より、当事業の目的、方針、及び成果の活用について説明した。
 - ② 東芝エネルギーシステムズ株式会社より、当事業の成果報告書(案)を基に、制振装置に関する調査結果、制振装置適用に関する課題の分析について報告した。

- ③ 学識経験者より、制振装置適用に関する課題の分析の視点、成果報告書に取りまとめる際の留意点についてコメントがあった。
- ④ 東芝エネルギーシステム株式会社にて、成果報告書に③の内容を反映し取りまとめることとなった。

6. その他
特になし